

拝啓 今年もはや4月末となりました。お元気でお過ごしのことと思います。いつもエンカウンターお読みいただきありがとうございます。この前やっと春らしい時期となったと思っていましたら、もう連休前です。私の家の玄関さきや庭先では、いまは、スイトピー、チューリップ、シクラメン、パンジー、スミレ、モッコウバラ、ラベンダーなどが、にぎやかに咲いています。

今回はバークレー先生の『一日一章』からの引用の12回目で、バークレー先生の最終回となります。この1年は、バークレー先生の『一日一章』にずいぶん教えていただきました。バークレー先生は、1978年、71歳で亡くなりました。復活の信仰に堅く立って、毎日目の前の義務をきちんと果たすことに務められ、小西先生の教えと非常に共通したところが多いと感じました。

ここで、エンカウンターの始まりから、今日までを振り返ってみたいと思います。エンカウンターは、平成14年1月に、私が始めてパソコンを自宅に買った際、エルマー先生の短文集を打って、それを佐藤レンさんにお送りしたことが始まりでした。そのころ佐藤レンさんは、健康が優れず、慰めになればと思ってお送りしたのが始めた動機でした。最初の4回までは、題名はないままでしたが、あるとき、南原先生の本で「出会い(エンカウンター)」という言葉に出会い、それを題名として頂きました。

始めたときから、毎朝お祈りのなかで感謝している先生方のご本を順次取り上げてみようと思い、祈っている順番に6ヶ月ずつ、7年間やってまいりました。当初考えていた先生は、全部終わりました。取り上げた著者は、エルマー先生、小西先生、ビリ・グラハム先生、パウロ先生、内村鑑三先生、矢内原忠雄先生、南原繁先生、新渡戸稲造先生、スポルジョン先生、カウマン先生、神谷美恵子先生、金田福一先生、バジリア・シュリンク先生、バークレー先生でした。それぞれの著者の霊想書等から感銘を受けた箇所を6回、6ヶ月間引用いたしました。バークレー先生だけ12ヶ月引用しました。

この7年間か1月も休まず、かつ最初に予定していた諸先生のご本を全部取り上げることができたことは私にとって、大きな感謝であります。

次号からは、南原先生がお勧めになるヒルティエ先生の著書『眠られぬ夜のために』からの引用を始めたいと思います。

これまで、お読み頂いたことを感謝申し上げますとともに、これからもどうかよろしく願います。

一年で一番良い季節になってまいりました。皆様も御身体御自愛の程祈り申し上げます。

敬具

平成21年4月27日

山口周三

エンカウンターの読者各位